

備えよう! ペットの災害対策

災害は突然起こります。いざというとき、あなたの家族とペットが安全に避難でき、一緒に暮らせるよう、心構えと日頃からのしつけ、避難生活への備えが大切です。

家族みんなの心構えと備え

家族で話し合い

- ・家族間の連絡方法、集合場所
 - ・非常持ち出し袋等備蓄品の保管場所と中身の確認
 - ・飼っているペットを、どう守り、避難させるか
 - ・飼い主が留守中の災害の時の対処方法
- などを家族で話し合い、いざというときに備えておきましょう。



詳しくは、環境省HP
「動物の愛護と適切な管理」をご覧ください!
◀パンフレット:
「備えよう! いっしょいっしょにいたいから」

地域情報の収集と避難訓練

- ・お住まいの地域の防災計画の確認しましょう。
- ペットを避難所に連れていくことはできますか?
- ・地域の避難訓練に参加しましょう。

同行避難とは?

災害発生時に、飼い主が飼っているペットを同行し、避難所まで安全に避難することです。

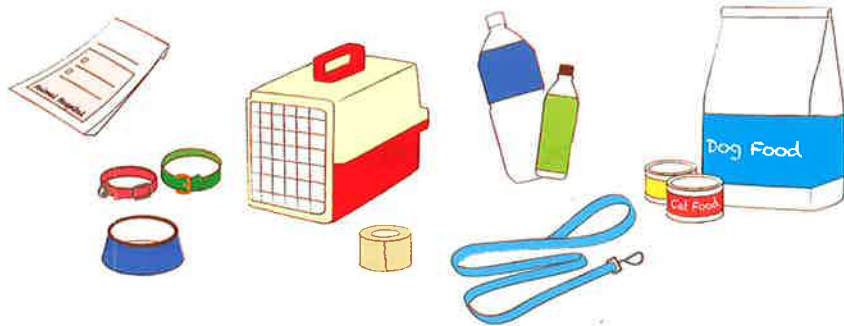


ペットのための災害時の備蓄品

- ▶ 緊急避難に備え、必要な物資の備蓄をしましょう。
- ▶ 避難所では人に対する準備はされていますが、飼っているペットに対する備えは、基本的に飼い主の責任になります。
- ▶ 持ち出し品には優先順位をつけて、すぐに持ち出せるように、まとめておきましょう。

優先順位1 ～命や健康にかかわるもの～

- 飲料水(5日分以上)
- フード(5日分以上)
- 処方食・療法食
- 処方薬・医薬品
- 予備の首輪・ハーネス・リード(伸縮しないもの)
- 食器
- ガムテープ(ケージの補修など多用途に使用可能)



優先順位2 ～飼い主や動物の情報～

- 飼い主の連絡先
- ペットの写真・ペットと飼い主が一緒に写っている写真
- 狂犬病予防注射接種・各種ワクチン接種の状況がわかるもの
- 既往症・健康状態
- かかりつけの動物病院



優先順位3 ～ペット用品～

- ペットシート、猫の砂(使い慣れた素材のもの)
- 排泄物の処理用具
- トイレトレー
- タオル・ブラシ
- 洗濯ネット(猫)
- 使い慣れたおもちゃ など



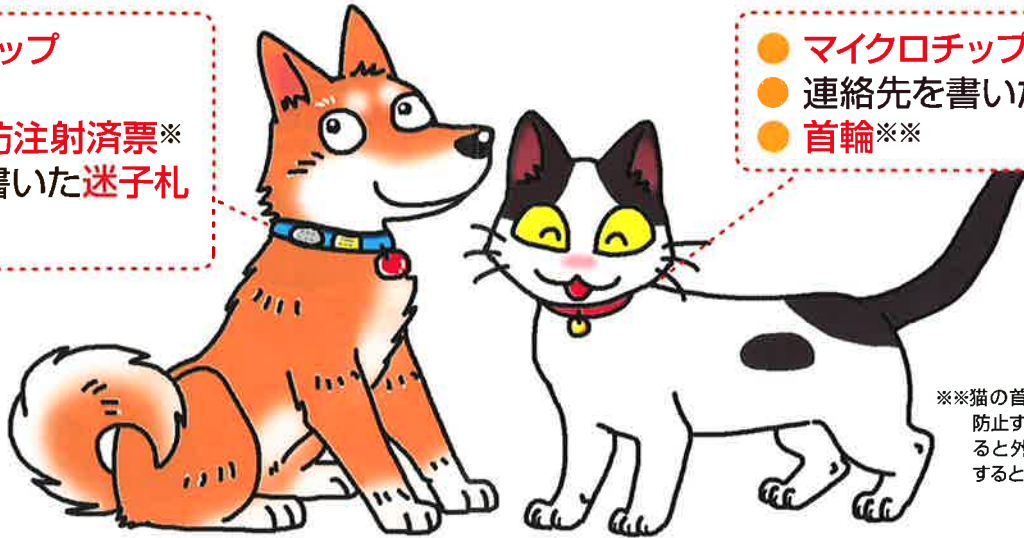
ペットへの日頃からの備え

所有明示

災害はいつ起こるか分かりません。常に首輪などをつけておきましょう。

- マイクロチップ
- 鑑札と
狂犬病予防注射済票*
- 連絡先を書いた迷子札
- 首輪

※犬の鑑札と狂犬病予防注射済票の装着は狂犬病予防法で飼い主に義務づけられています。



- マイクロチップ
- 連絡先を書いた迷子札
- 首輪**

※猫の首輪は引っかかりを防止するために、力が加わると外れるタイプを使用すると良いでしょう。

健康管理

避難生活ではストレスがかかり、体調を崩しやすくなります。

犬

- ・体を清潔に保つ(ブラッシングなど)
- ・狂犬病予防注射と各種ワクチンの接種
- ・犬フィラリア症の予防・駆除
- ・ノミやダニなどの寄生虫の予防・駆除

猫

- ・体を清潔に保つ(ブラッシングなど)
- ・各種ワクチンの接種
- ・寄生虫の予防・駆除

しつけ

周りの人に迷惑をかけないように、しつけを普段からしておきましょう。

犬

- ・基本的なしつけ「待て」「お座り」「伏せ」などができる
- ・ケージの中に入ることを嫌がらない
- ・不必要に吠えない
- ・人を怖がったり攻撃的にならない
- ・決められた場所で、排泄ができる

猫

- ・ケージやキャリーバックに入る事を嫌がらない
- ・人やほかの動物を怖がらない
- ・猫用トイレでの排泄

しつけを行うことは、周りの人のためであると同時に、犬や猫のストレスを少なくすることにつながります。

日頃からケージに入る練習しましょう！ 避難する時も、避難所でも必ず役立ちます！

ケージをペットにとって安心できる場所^①にしておくことが大切です。

- ▶ 普段から休めるスペースとして開放しておく
- ▶ 中でリラックスしているのも見つけたらほめる
- ▶ 中でおやつやフードを与えるなど、良い印象を持たせる
- ▶ 閉じ込められる場所、病院に行くときに入る場所など、悪い印象と結びつかないようにする
- ▶ 硬い材質の方が安全性が高い
- ▶ ペットが寝そべることができて、広すぎず、狭すぎない大きさを選ぶ

